

西福寺寺報 **道** - michi -
2025 (令和 7) 年 報恩講号

わたしは今もうすっかり年老いてしまい、
きっとあなたより先に往生するでしょうから、
浄土で必ずあなたをお待ちしております。 (親鸞聖人)



報 恩 講 法 座

12月 2日(火) 夜席(19:30~21:00ころ)
3日(水) 朝席(09:00~11:30ころ)
昼席前 お斎接待
昼席(13:00~15:30ころ)

ご法話	節談説教一不來迎の談、平生業成の義なり
講 師	高山泰秀さん(佐伯区湯来町 一松寺) 本願寺派布教使 「節談説教研究会」広島支部会員 1973年生まれ。ハムスターを飼い始めましたが、全く懐いてくれず切ない毎日です。 精一杯勤めます。

報恩講法座 YouTube 配信 URL

2日夜席 3日朝席 3日昼席



左のQRコードを読み込み、YouTubeに
リンクすると、すぐにお聴聞することが
できます。

浄土真宗本願寺派
(本山：西本願寺)

多聞山

西 福 寺

〒739-0152
東広島市八本松町吉川 153-2
TEL: 082-429-1038
FAX: 082-429-1398
Email: tamon.saifukuji@kokeshoja.jp

仏教婦人会月例法話会
(お寄り講 13:30~15:00)

11月お休み
12月 17日(仏婦報恩講と併催)
来々 1月未定(市条担当)
2月 4日(水)
西福寺庫裏(清水原担当)

お経会(大人の寺子屋)
(毎月第3木曜日 13:30~15:00)

『正信念仏偈』を読む
11月 20日
12月お休み
来々 1月お休み
2月 19日

オアシス法話会
(毎月第4木曜日 13:30~15:00)

『不安に寄り添う』
11月 13日(第2木曜日)
12月お休み
来々 1月お休み
2月 26日

土 曜 学 校
(毎月第2土曜日 9:00~10:00)

11月 15日(第3土曜日)
12月 13日
土曜学校ほうおんこう
来々 1月 10日
2月 14日

Contents

- 2 3 お寺だより 4 5 お知らせ
6 浄土真宗のことは入門 広辞苑編
7 浄土真宗のことは入門『正信念仏偈』

寺報を読み終わった後はしまい込まないで、ご家族みんなでご覧ください。
子どもさん、お孫さん世帯など用に2部以上必要な方は、お知らせください。

※題字「道」は本願寺蔵『顕浄土真実教行証文類』総序より

お寺だより

法座

10月20・21日

秋季永代経法座

【ご法話】「浄土三部経を聞く」桑門真昭さん(広島市中区大手町 常念寺)

【20日昼】参拝者30名 お勤め『三奉請』『表白』『仏説阿弥陀経念仏和讃』※門信徒総追弔会兼修

【21日夜】参拝者10名 お勤め『三奉請』『表白』『仏説阿弥陀経念仏和讃』※門信徒総追弔会兼修

【22日朝】参拝者8名 お勤め『正信念仏偈』

【22日昼】参拝者19名 お勤め『正信念仏偈』

【仏教讃歌】「みほとけは」

【ご法話】20日昼席

【私たちの根本聖典は、『大無量寿経』と言います。これは「浄土三部経」のひとつです。

【ご法話】20日昼席

【私たちの根本聖典は、『大無量寿経』と言います。これは「浄土三部経」のひとつです。

【ご法話】20日昼席

【私たちの根本聖典は、『大無量寿経』と言います。これは「浄土三部経」のひとつです。

【ご法話】20日昼席

【私たちの根本聖典は、『大無量寿経』と言います。これは「浄土三部経」のひとつです。

【ご法話】20日昼席

【私たちの根本聖典は、『大無量寿経』と言います。これは「浄土三部経」のひとつです。

【ご法話】20日昼席

【私たちの根本聖典は、『大無量寿経』と言います。これは「浄土三部経」のひとつです。

【ご法話】20日昼席

【私たちの根本聖典は、『大無量寿経』と言います。これは「浄土三部経」のひとつです。

【ご法話】20日昼席

【私たちの根本聖典は、『大無量寿経』と言います。これは「浄土三部経」のひとつです。

【ご法話】20日昼席

最後の漢文の偈文です。『教行信証』は、教・行・信・証・真仏土・化身土の六巻で構成され、教えとは何か、行とは何か、信心とは何か、お証とは何か、本当のお浄土とはどういうところか、そして惑わされる偽物のお浄土風のまがいものはどうなのか、ということをお浄土人は丁寧に書かれています。その中でも、教の巻には、この『大無量寿経』の序文を引いたものだけが載っています。これは、親鸞聖人が私たちに「仏とは何なのか」ということを、教えとして伝えようとしている。「ここを絶対外せん。分かっ

てほしい」という思いがあったのだと思うんです。

みなさん、仏とは何ですか。私たちは仏について非常に曖昧です。例えば、阿彌陀如来を括弧して「南無阿彌陀仏」と書いてありますが、南無阿彌陀仏とは、絵ですか。字ですか。声ですか。「仏とは何なのかを

はつきりしないといけない。そこは絶対間違っちゃいけませんよ」というのが教の巻に書かれていることなんです。

ギリシャ神話に、「プロクルステスのベッド」という話があります。プロクルステスというおじさんが、自分の自慢のベッドに客の身長を合わせるため、長ければ足をノコギリで切り、短ければ突き殺すという話をします。「わしの都合のええところでやってくださいや」と言うて足切る。「わしの得になることをやってくださいや」と言うて突き殺す。ピタッと自分の都合のええものを作ると、「ああ、すばらしい仏さんじゃ」と言う。蓮如さまはこれを「仏の手づかみする」とおっしゃる。わしら手でこねくりまわして、仏さんを自分の丁稚にして、自分の欲を叶える「ニセドラえもん」にしようわけです。親鸞聖人は「それを仏さまにするなよ」と言われます。「自分の都合のええものを作るのを、いっかいやめなさいよ」というところから始まるのが、お聖聞です。

そうしたら、そこで出あう仏とは何か。それは、『大無量寿経』を説いているお

釈迦さんの姿のことなんです。

『大無量寿経』は、お釈迦さんのいところで、お弟子さんである阿難が、ある日のお釈迦さまを見て、「え？ お釈迦さん、なんで今日は、そがめにピカピカでハンサムなん？ こんなお釈迦さん見たことない！」と驚く瞬間から始まります。お釈迦さんが、「わかる？ 何でわしかこういうふうなピカピカかわかる？ 今からね、阿彌陀如来のこと喋るよ。お浄土のこと喋っていくよ。じゃけんわし、光なんよ」ということを言うわけです。

「光をまとったお釈迦さんがお説法されているお姿は、阿彌陀如来としか呼びようがない」というのが私たちの立場です。「ものすごい光の塊だのお」と言うしかない、と、名づけたてまつるのが、私たちが阿彌陀如来と呼ばせてもらっている仏さまです。親鸞聖人は、この阿難がお釈迦さんの光に気づくシーンを、「ここだけが教えなんだ」として教の巻に書かれました。

仏陀であることは、能力があるとか、空中浮遊がで

き、お勤め

2日夜席『正信念仏偈(行讃)』

3日朝席『正信念仏偈(行讃)』

昼席『正信念仏偈(行讃)』

『御伝抄』拜読

『浄土真宗の教章(私の歩む道)』より「教義」「生活」「宗門」

「聴聞の心得」

「ご法話前半(約30分)」

(休憩10分)

仏教讃歌

「報恩講の歌」

「ご法話後半(約30分)」

※夜席は約40分(休憩なし)

「浄土真宗の救いのよろこび」

「恩徳讃」

YouTube saifukuji_inweb 最新情報

チャンネル登録者数 654

チャンネル視聴回数 120,093 回

総再生時間 19,400.3 時間

秋季永代経法座アーカイブ

10/20 昼席

10/20 夜席

10/21 朝席

10/21 昼席

(2025/11/03 現在)

報恩講法座次第

きるとか、手から金を出すとか、ものすごい勉強ができるとか、そんなことと何の関係もないです。私を諦めずに仏教に誘ってくださる人を仏陀というわけです。その思いが光をまとわれて、阿弥陀としか言いようがない。曾我量深が若いころ、病気で寝ている時に、円山応挙の「出山の釈迦」、修行をやめた後の痩せこけた姿の絵を見て、「気持ち悪い。この釈迦のせいで腹が痛いんじゃないか」と思ったそうです。しかし、年を経て、立派な人、能力のある人を追っかけとったんじゃないかという自分に気づき、実は違うんじゃないかと言っていたのが『出世の釈迦を念じて』というエッセイです。

仏教をしゃべり始めました。その姿は、「修行をやめたものが馬鹿じゃないか」と、みんなに言われる姿でした。でも阿難は、立派で威張ったお釈迦さんだから偉いのではなく、私と同じように阿弥陀仏に向かって念仏なさっているお釈迦さんを初めて見るんです。それは、お釈迦さんが「南無阿弥陀仏」をしとるお姿、阿弥陀仏に対面された「仏仏想念」されているお姿を、阿難が発見するわけです。偉いから、能力があるからお釈迦さんじゃない。私を照らすために阿弥陀仏の光と合体されたお釈迦さんに、阿難が初めて出遇わされたシーン、親鸞聖人はそのことだけを教えとして『教行信証』に書かれるのです。

仏教婦人会

10月10日
月例法話会

【場所】西福寺庫裏(本郷)
【参加者】25名
【お勤め】『正信念仏偈』『御文章』『無上甚深章』
【ご法話】『なるほど浄土真宗』より「偉大なる訳経僧」

仏教婦人会報恩講 (月例法話会併催)

12月17日(水) 13:30～15:00ごろ

お勤め前 お齋接待

13:30 お勤め『正信念仏偈(行譜)』『御伝鈔』拝読
ご法話 住職

お経会(大人の寺子屋)

10月16日

【参加者】5名

【お勤め】『正信念仏偈』『正像末和讃』『本願疑惑の行者』には、含花未出のひともあり、或生辺地ときらひつたり、或墮宮胎とすてらるるより6首『御文章』『大坂建立章』(『御文章』ひらがな版)134ページ
【ご法話】『正信念仏偈』『建立無上殊勝願』超発希有大弘誓「第37願」作礼致敬の願

オアシス法話会

10月9日

【参加者】8名

【お勤め】『正信念仏偈』『正像末和讃』『他力の心をえん』とは、仏恩報ぜんために、如来二種の回向を、十方にひとしくひろむべし。より7首『御文章』『当流勸化章』(『御文章』ひらがな版)211ページ
【ご法話】いつまでも 育ちざかりの人生

土曜学校

10月11日 土曜学校

【参加者】6名

【お勤め】『正信念仏偈』『絵本』『りんごかもしれない』作/ヨシタケシンスケ『ブロンズ新社』『こすずめのぼうけん』作/ルース・エインズワース 絵/堀内誠一 訳/石井桃子(福音館書店)

土曜学校

ほうおんこう

12月13日(土)

9:00～10:30ごろ

おつとめ

『正信念仏偈』

仏さまのお話

安芸教区・東広島組近況

(本願寺派安芸教区)

10月22日

見真編集会議

10月30・31日

布教団後期研修会

11月18日

教区情報発信に関する研修会

11月20日

教区仏教婦人会連盟

実践運動後期研修会

12月8日

安芸教区布教団役員会

(安芸教区東広島組)

10月17日

組講習会

【場所】教正寺(西条町助実)

10月24日

組門徒総代会総会研修会

【場所】昭玄寺(西条町寺家)

【参加者】住職 原田照之さん

住職出講

12月8日

安楽寺きくの会報恩講法座

(広島市中区牛田)

2026(令和8)年

1月14・16日

光明寺御正忌法座

(呉市川尻町)

主催勉強会・研修会

10月3・4日

視聴覚伝道研究会布教研究大会

(京都市 西本願寺聞法会館)

10月28日

第119回聞光の会

(広島市 広島別院共命ホール)

12月18日

第120回聞光の会

(広島市 広島別院共命ホール)

俱会一処

浄土での再会を期して

生前のご苦勞を偲び
謹んで哀悼の意を表します。

永

代経とは永代にわたりお経が残り、
仏法が伝わっていくということです。「永代経志」とは、故人の残し伝えてくださった
み教えを聴聞する「聞法道場」であるお寺が、
永代にわたり存続することを願って収める志
のことです。故人を永代にわたり追善供養し
てもらうためではありません。今を生きる私たちが、先人から受け継いだ
教えに出遇うためのご縁を、後世に伝えるた
めのお供えです。多くは先人の遺志を継いで
お納めされますが、事前にお供えされても構い
ません。

永代経御懇志

宮脇孝之様 亡父の志を継いで
ご懇意、衷心より感謝申しあげます。
これからも、お念仏ご相続ください。

感謝

寺報発行への志 3件
ゆうちょ銀行への志 2件
いつもお心遣いいただき、有難うございます。報恩講は、浄土真宗門徒にとつ
て最も大切な法座です。お内仏
でも必ずお勤めいたしましょう。報恩講は、浄土真宗を開かれ
た、宗祖親鸞聖人のご命日を
ご縁として営まれる法座です。

報恩講のご自宅へのお参りについて

吉川・原地区のご門徒の方は、
ご希望の日時をお寺にご連絡く
ださい。調整しお参りいたしま
す。前記以外の地区の方は、お
寺からお参りする日時をお知ら
せいたします。ご都合が悪い場
合は変更いたしますので、ご連
絡ください。準備は、普段のご法事るとき
と同じです。ただし、「朱(赤)
色」のろうそくをご用意くださ
い。お勤めは約30分です。

年末、年始はお寺へGO!!

除夜の鐘

12月31日(水) 23:45～

除夜の鐘はご自由に撞いてください。回数に制限はありません。



除夜会・元旦会

1月1日(木) 00:00～00:45ごろ

本堂でお勤めします。どなたでもお参りできます。途中の出入りも自由です。

三が日は本堂を開放しています。初詣はご自由にお参りください。

【開放時間】1日 00:00～18:00 2・3日 8:00～17:00

ペットボトルキャップをワクチンに

安芸教区では、ペットボトルキャップを回収し、世界の子どもたちにワクチンを
届ける運動をしています。みなさまもぜひ、洗浄済みのキャップをお寺に持ってき
てください。住職が広島別院に届けます。ご協力よろしくお願いいたします。



よろしく
お願い
いたします。

YouTube チャンネル「saifukuji_inweb」

西福寺の法座は YouTube でいつでもお聴聞できます。



ホーム 動画 ライブ ボードキャスト 再生リスト

おすすめ



こんな方におすすめです！

- 法座にお参りしたいけれど、体調がすぐれず、長時間座ってられない。
- ご法話をもう一度ゆっくりお聴聞したい。
- ご法話に興味があるが、なかなかお寺にお参りできない。
- 最近、お寺や仏教のことが気になってきた。

見方はかんたん！

- ①スマートフォン・タブレット・パソコンから
- ②「YouTube（ユーチューブ）」を開く
- ③検索で「saifukuji_inweb」または「多聞山西福寺」と入力
- ④チャンネル登録をすると、更新情報が届きます

チャンネルでは ご法座を配信中！

- ご法話だけでなく、お勤めも LIVE 配信します。
- LIVE 配信時の法座は、**LIVE** マークが目印です。
- 過去のご法座もいつでもお聴聞できます。

お手伝いします！

「見方がわからない」「スマホでうまく開けない」そんなときは、お気軽にご相談ください。一緒にご案内いたします。

※スマートフォンでのお聴聞は、通話料とは別のデータ通信料が必要となります。料金プランによっては高額になる場合がありますので、ご注意ください。

右の QR コードから直接チャンネルを開くことができます。



「西福寺はちす墓苑」新規利用者募集（門信徒（西福寺とご縁のある方）限定）

- 新規区画永代使用 30 万円（1 区画 1m × 2m）

※永代管理費、墓石代別

- 門信徒合同墓 永代納骨 ひとり 5 万円（4 人以上は 20 万円）

※納骨後は遺骨のお返しはできません。

- 一時預かり ひとり 1 万円（年間）

※最長 32 年間。

詳しいご相談、お申し込みはお寺までご連絡ください。



浄土真宗のことば入門 広辞苑編

空谷の跫音 くうこくのきようおん

「莊子（徐無鬼）」「それ虚空に逃るる者…人の足音の跫然たるを聞きて喜ぶ」空谷に聞こえる人の足音。転じて、寂しく暮らしている時に受ける人の訪れ。また、非常に珍しいことのたとえ。空谷の足音。

（『広辞苑第七版』）

人は思いがけない出会いに感動するものです。ときに奇跡としか言いようのないできごと、運命を感じることもあるでしょう。しかし、会にきてくれた側からしたらどうでしょう。

以前、『川口浩探検隊』というテレビ番組がありました。世界中の秘境を、さまざまな困難に遭いながら探検していくという内容です。画面には、人が足を踏み入れたことのない地を進んでいく探検隊の姿が映しだされます。ときには、隊員たちの顔を正面からとらえた映像もあります。でも、そのときカメラマンはどこにいます。それは隊員たちの前を歩きながら、後ろを撮影をしているのです。つまりスタッフが探検隊の先を行き、隊員たちは、後を追っている。当時、制作に関わっていた人たちによると、ドキュメンタリーではなくバラエティー番組として、先回りをしてさまざまな演出をしていたそうです。後に、同じ放送局のワイドショー番組がやらせ事件を起こしたことから、やがてこの番組も放送されなくなっていました。

もちろん「やらせ」や過度な演出は気持ちのいいものではありません。しかし、出演者の安全などを考えたとき、下調べをしたり、準備が

必要なこともあるでしょう。一方で、そうしたことを、故意に隠し、いかにも偶然をよそおって、とてつもないことが起こっているように、視聴者を誤解させるのはいかがなことかと思えます。こういった誤解は、身近なところでも起こるのではないのでしょうか。思いがけない出会いを、自分の考えや経験だけで評価して、奇跡が起こったと思うこともあるでしょう。しかし、こちらが奇跡のような出会いだと思っても、訪ねてくる側からすれば、長い間こちらのことを思い続けて、準備を整えて、ようやく出会うことができたのかもしれない。わたしから見れば思いがけないことであっても、相手からすれば「出会うって当然の出会い」もあるのではないのでしょうか。

なんしんのほう 難信の法

きわめて信じ難い法という意。本願救済の法は、世間の常識的な道理を超越しているから、自力にとらわれた心では信じ難い法であるということ。そのことはまたこの法の尊高をあらわしている。『小経』には「一切世間のために、この難信の法を説く。これを甚難とす」、異訳の『称讃浄土経』には「一切世間極難信法」と説かれる。また親鸞は「化身土巻」において、『小経』の隠彰の義について「彰といふは、真実難信の法を彰す」と述べている。

うどんげ 優曇華

優曇は梵語ウドウンバラ（udumbara）の音訳。優曇鉢華・優曇鉢樹ともいい、靈瑞華と意訳する。3000年に一度開花するといひ、仏に遇いがたいことや、きわめて稀なこと、す

ぐれたことが起こることなどの喩えとされる。

（『浄土真宗辞典』本願寺出版社）

親鸞聖人はお念仏のみ教えは「難信」であるから、私たちの力ではとうてい信じられるものではないとおっしゃいます。「教えに出あうことは優曇華を見るように稀なことだ」と言われるのです。しかし、それは教えに遇うことが「不可能」なのだというではありません。それほど遇い難い教えに、今、ここで出遇わせていただいているよろこびを伝えてくださっているのです。だからこそ「遠く宿縁を慶べ」とお示しください。優曇華が咲くまでの3000年間、どれほどのはたらきかけが、優曇華の根や茎、葉にあつたのでしょうか。それらの縁が調い、熟してようやく花が咲いたのです。

私がお念仏のみ教えに出遇わせていただくまでに、どれだけ多くのはたらきかけがあつたのでしょうか。阿弥陀仏は私が心に向ける前から、「真実のよろこびの中に歩む者へと成らせたい」と願ひ続けてくださっています。そして、そのはたらきが、いまの私の身に「南無阿弥陀仏」と成就してくださっているのです。そのことに気づかされたとき、難信の法との出あいは、阿弥陀仏よりの必然の出遇いであつたと、よろこばせていただけるのです。



浄土真宗のこゝろ入門 『正信念仏偈』その 62

〔本文〕

建立無上殊勝願 超発希有大弘誓

〔書き下し文〕

無上殊勝の願を建立し、希有の大弘誓を超発せり。

(『浄土真宗聖典 註釈版』願浄土真実教行証文類行文類)

〔現代語訳〕

この上なくすぐれた願をおたてになり、世にもまれな大なる誓いをおこされた。

(『浄土真宗聖典 願浄土真実教行証文類—現代語訳』)

第7願「設我得仏 国中人天 不得天耳 不至聞 百千億那由他 諸仏所聞 不悉受持者 不取正覚」(天耳遥聞の願)

たとひわれ仏を得たらんに、国中人天、天耳を得ずして、下百千億那由他諸仏の説くところを聞きて、ことごとく受持せざるに至らば、正覚をとらじ

(『願浄土真実教行証文類 浄土真宗聖典註釈版』16 ページ)

わたしが仏になるとき、わたしの国の天人や人々が天耳通を得ず、数限りない仏がたの説法を聞きとり、すべて記憶することができないようなら、わたしは決してさとりを開きません。

(『浄土三部経—現代語訳』〔本願寺出版社〕)

世尊よ。もしも、かのわたくしの仏国土に生まれた生ける者どもが皆、少なくとも百千億・百万の仏国土からでも同時に正しい理法を聞くだけの超人的な聴覚(天耳通)を持っていないようであったら、その間はわたくしは、〈この上ない正しい覚り〉を現に覚ることがありませんように。

(『浄土三部経(上)』中村元・早島鏡正・紀野一義訳注〔岩波文庫〕)

この天耳通は申すまでもなく、仏教一般の説明から申しますと、どんな声でも聞こえるということでもあります。私がここにこうやって、京都の鹿ヶ谷の蛇が蛙を呑む、蛙が鳴いている、それまで聞こえるのが天耳通であります。だから、どんな雀の言葉でも、鳥の言葉でも、ないしはどんな小さな声でいっている言葉でも、みな聞くことができるというのが天耳通であります。が、ここではとくに「諸仏の所説を聞いて、悉く受持せざるに」とありますから、天耳通はとくに聞法せしめんと願いと申すべきでしよ

うか。これをもって推すに、六神通の順はすべて仏法の智慧を増進することのために誓われているもののようであります。

(『四十八願講義』金子大榮著〔法蔵館〕)

この願いは、すべてのものが、どんな時も、どんな状況においても、仏法を聞く身となって欲しいという願いです。

第七願でとかれる天耳も六神通の一つです。「神通力」の「神」とは「人知以上のものの称」(神秘)の意味もありますが、私は「精神」(心)の「神」と領解し、「神通力」を他の人の精神(心)や気持ちに通じる能力と領受しています。

天眼が智慧の眼であると同じように、天耳は智慧の耳で、自分の都合や他の人の言葉等に惑わされることなく、人の言葉をありのままに聞くことのできる耳をいうのです。

私たちの耳は自分の恣意で聞いたり、周りの人がそれぞれの立場で、いろんなことを言う雑意に耳を奪われて、相手の言葉をありのままに聞くことが少なく、聞き違いがしばしば生じ、争わなくてもいいことで争う結果を招くことがあります。

私は先輩から「言葉は何のためにあると思う」と問われたので、すかさず「言葉は相互理解のためにあると思います」と答えると、「藤田君は若いな」と言って笑われたことがあります。少しムカッときた私は、先輩に「言葉は何のためにあるのですか」と強く反発しました。

すると、先輩は「怒ったのか、よく聞けよ。言葉は確かに相互理解のために生まれたものだ。地球上の生きものの中で、人間ほど言葉を駆使して相互理解に努めているものはないだろう。ところが現実には、人間ほど言葉の行き違いで争っている生きものはいないよ」と言われたのです。

しばらく考えてみましたが、先輩の問に上手に答えられません。そこで「じゃあ、先輩は言葉は何のためにあると考えておられますか」と問いました。(以下次号)

(『四十八願を語る 上』藤田徹文著〔探求社〕)



Photograph Collection

秋季永代経法座

西福寺作品展



土曜学校



来年の年回忌
50 回忌 昭和 52 年
33 回忌 平成 6 年
25 回忌 平成 14 年
17 回忌 平成 22 年
13 回忌 平成 26 年
7 回忌 令和 2 年
3 回忌 令和 6 年
1 周忌 令和 7 年
法事のご依頼は、お早
めにお願いたします。
メール・SNS でのご
依頼、ご相談にも対応い
たします。

庫裏つく

2025 (令和 8) 年
迦羅羅法語カレンダー法話集

『不安に寄り添う』

(月々の法語 第 33 号 迦羅羅塾編)

1 冊 300 円で販売中

毎月の法語についての法話が掲載されています。
住職は 9 月を担当しています。
購入ご希望の方はお寺までお申し込みください。

ゆうちょ銀行振込口座

口座番号	01340-9-110539
口座名称	西福寺 (サイフクジ)

他行等などからのお振込の場合は下記内容をご指定ください。

店名 (店番)	一三九 (イチサンキュウ) 店 (139)		
預金種目	当座	口座番号	0110539

ご寄付は随時受け付けております。

WEB 賽銭箱設置

HP からお賽銭を

お納めいただけます。

(クレジットカード専用)

こちらの
QR コードを
読み込んで
ください。



個人名、もしくは連名でのご寄付、ご寄進につきましては、事前に住職とご相談くださいますよう、お願い申し上げます。

なお、随時受け付けております。

Website



YouTube



facebook



Instagram

LINE
公式アカウント

X

